

(1) 漁場保全事業

①二枚貝分布状況調査（松江市、出雲市）

松江市鹿島町古浦海岸の約 500m及び出雲市湖陵町差海川河口の約 2,000m、水深 0~1.5mの海岸線を 50m区画ごとに区分けし、二枚貝類の分布状況を調査した。

その結果、有効利用が期待されるチョウセンハマグリ、オキアサリ、バカガイ等の有用二枚貝を確認したが、貝の生息密度は薄かった。今後は沖合調査を実施し最終判断を行う必要がある。

【 調査結果 】

調査日	地域	生物	数量 (個)	最大 (mm)	最小 (mm)	平均 (mm)
10月29日	松江市鹿島町 古浦海岸	チョウセンハマグリ	24	74	15	27
		オキアサリ	7	41	19	33
		バカガイ	2	41	14	27
		その他	1	48	48	48

【 調査結果 】

調査日	地域	生物	数量 (個)	最大 (mm)	最小 (mm)	平均 (mm)
1月31日	出雲市湖陵町 差海川西側河口	チョウセンハマグリ	18	48	12	25
		オキアサリ	172	53	9	28
		バカガイ	0	-	-	-
		その他	1	15	15	15
2月1日	出雲市湖陵町 差海川東側河口	チョウセンハマグリ	12	51	16	38
		オキアサリ	296	69	13	33
		バカガイ	3	55	29	44
		その他	1	44	44	44

②放流アワビ生息・放流効果調査および海藻類増殖を目的とした岩盤覆い物除去試験（隠岐の島町）

隠岐の島町犬来地先で、放流アワビの生息状況及び海域状況を観察するため潜水調査を実施した。通常利用されている漁場であったが、放流アワビの混獲が確認されて、放流効果があることを把握した。

また、海藻の生育密度及び面積を向上させる目的で岩などの表面を覆っているサンゴ藻等を高圧洗浄機によって除去し、有用海藻の付着基盤面積の回復を促したところ、きれいになった岩肌に珪藻が確認された。

③平田地域及び多伎地域における磯場の資源量調査（出雲市）

出雲市平田及び多伎地先で投石魚場の調査を行い、漁獲サイズのアワビ、バフンウニや3月頃に放流したと思われるアワビの確認ができたので、状況報告をした。

④資源管理・漁場保全ポスターの作成と配布

○ ポスターを作成し県水産関係部署及び会員の40団体に配布した。

(2) 受託事業

① 広域漁場整備事業漁場利用状況調査業務（県漁港漁場整備課）

○ 県下の一本釣漁業者に調査野帳を配付し、利用回数、漁獲量、魚種等を記録してもらい、人工魚礁の利用状況の把握に努めた。

② 種苗放流による資源造成支援事業

（(公社)全国豊かな海づくり推進協会を事務局とした日本海中西部海域栽培漁業推進協議会で実施）

○ 日本海中西部海域（石川、福井、京都、兵庫、鳥取、島根、山口県を対象）の関係県で、ヒラメ種苗の適地放流試験や、小型魚の再放流などを連携して行うことで、放流種苗の生残率の向上を図り、計画的な資源の造成を推進した。

(3) 助成事業

① 海難遺児に対する育英資金の給付

○ 平成24年度は、高校生3名に給付した。

【給付額】

対象	月額
幼児・小学生	4,000円
中学生	5,000円
高校生	7,000円
大学生	11,000円

② 内水面域振興活動推進費助成

○ 助成金交付要綱に基づき、島根県内水面漁業協同組合連合会に対し35万円を助成した。

3、補助事業（県単強い水産業づくり交付金事業：ヒラメ・マダイ放流事業）

(1) 放流事業

平成23年4月に策定された島根県第6次栽培漁業基本計画に基づき、県下6地域の水産振興部会と連携しながら、ヒラメ・マダイ稚魚の中間育成および放流を実施し、積極的に資源の回復、漁業生産の増大を図った。

（事業費には、県交付金、地元負担金、栽培漁業推進ファンドの運用益を充当）

【ヒラメ放流実績（育成30<sup>ミリ</sup>、放流73～250<sup>ミリ</sup>）】

部会名	中間育成			放流				歩留 (%)
	配布 開始日	育成尾数 (尾)	サイズ (mm)	放流 終了日	放流尾数 (尾)	サイズ (mm)	放流地域	
出雲東部	4/27	125,000	30	9/20	15,000	150～250	大芦 恵曇 七類	12
出雲西部	4/27	80,000	30	6/15	20,200	104	十六島 湖陵 多伎 大社	25
石見東部	4/25	230,000	30	6/15	47,100	98～104	和江 久手 宅野 仁摩 温泉津	20
石見西部	4/20	250,000	30	6/13	115,700	73～106	江津 浜田 三隅 益田	46
合計		685,000			198,000			28

【マダイ放流実績（育成25<sup>ミリ</sup>、放流80～130<sup>ミリ</sup>）】

部会名	中間育成			放流				歩留 (%)
	配布 開始日	育成尾数 (尾)	サイズ (mm)	放流 終了日	放流尾数 (尾)	サイズ (mm)	放流地域	
隠岐島前	7/24	500,000	25	9/7	422,960	80	西ノ島 海士 知夫	85
隠岐島後	7/11	500,000	25	10/4	440,000	91	隠岐の島	88
出雲東部	7/24	160,000	25	9/20	145,320	96～130	美保関 島根 鹿島 魚瀬	91
合計		1,160,000			1,008,280			86.9

(2) ヒラメ疾病に対する対策

シュードモナス症の発症が主な原因と考えられたため、発症しやすい飼育環境（水温15℃～20℃）での作業を避け、「輸送・飼育環境の変化・選別作業」等で魚に負担をかけない育成を実施することとした。

○平成25年度の対応策

- ・島根県、部会、飼育管理従事者と対策会議を実施する。
- ・栽培漁業センター、輸送トラック、育成場、資材の防疫対策を徹底する。
- ・出荷時期と出荷体制の見直し（時期・輸送密度・薬浴）をする。
- ・中間育成施設での管理を徹底する。
- ・飼育管理従事者の研修会を実施する。

(3) 事業計画検討会

開催日		開催会議	
6 月	22 日	事務担当者会議	(松江市)
10 月	19 日	中間育成担当者会議	(松江市)
1 月	28 日	市場調査担当者会議	(浜田市)
2 月	7 日	事務担当者会議	(松江市)

(4) 水産振興部会協議会

開催日		開催会議	
5 月	9 日	石見西部地域水産振興部会総会	(浜田市)
5 月	14 日	隠岐島前地域水産振興部会総会	(西ノ島町)
6 月	26 日	石見東部地域水産振興部会総会	(大田市)
8 月	23 日	出雲西部地域水産振興部会総会	(出雲市)
12 月	18 日	隠岐島前地域水産振興部会幹事会	(西ノ島町)
12 月	25 日	石見西部地域水産振興部会幹事会	(浜田市)

(5) 放流効果調査 (集計期間 平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日まで)

○調査実施

西ノ島町・大田市・浜田市の各市場において、島根県の協力を得て、ヒラメ、マダイの放流効果調査を 68 回行った。

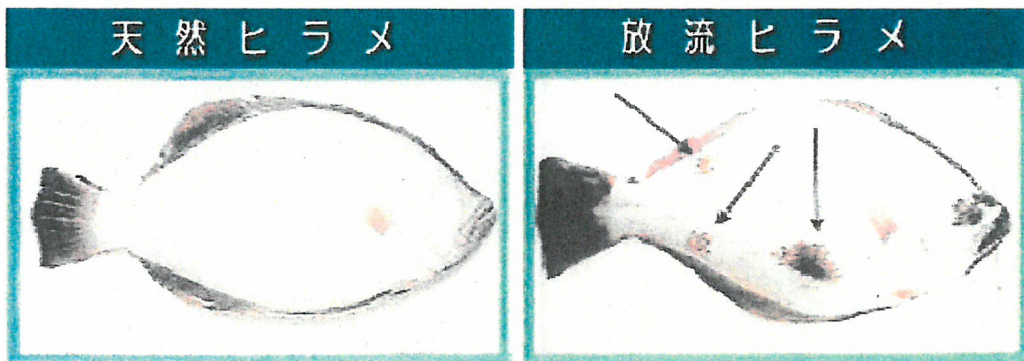
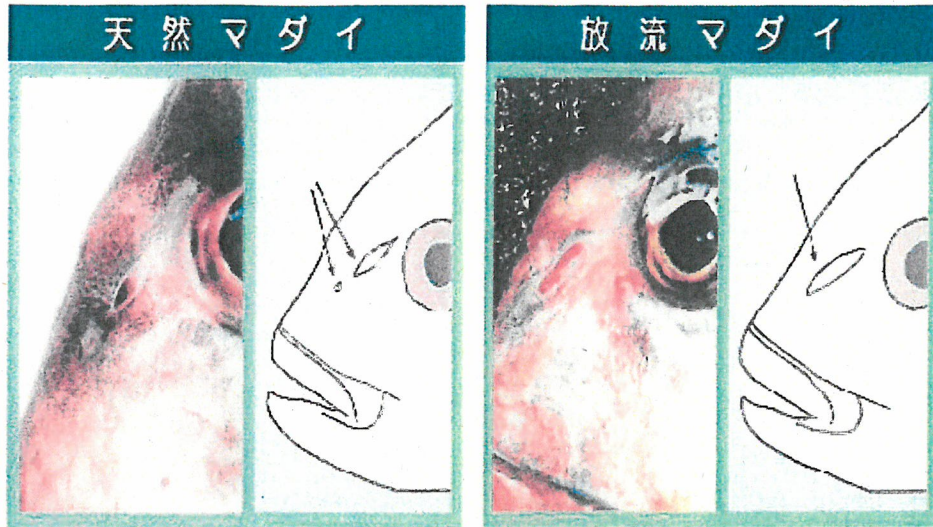
○結果

ヒラメは、4,754 尾を測定し、そのうち放流目印のついた魚を 115 尾確認した (混獲率 2.4%)。マダイは、326 尾を測定し、そのうち放流目印のついた魚を 17 尾確認した (混獲率 5.2%)。

この他に、天然魚と区別できない放流魚も漁獲されていると推測されることや、漁獲されていない放流魚も多く海域に残っていること等を考慮すると、県内のヒラメ・マダイ資源の嵩上げや、漁業生産に貢献できているものと考えられる。

また、放流魚の生殖腺の成熟を確認していることから、漁獲されていない放流魚の多くは、産卵行動を行い天然資源の増大に寄与していると考えている。

調査期間	調査場所	対象		調査内容			
		漁法	魚種	回数 (回)	尾数 (尾)	放流魚 (尾)	混獲率 (%)
4/27 ~ 12/12	西ノ島町浦郷	定置網・刺網・一本釣	マダイ	19	326	17	5.2
1/10 ~ 12/7	大田市和江	小型底曳網	ヒラメ	14	1,410	16	1.1
1/15 ~ 12/18	浜田市元浜	沖合底曳網	ヒラメ	35	3,344	99	2.9



(6) 栽培漁業のPR活動

- ① 漁業者が、地先海域の資源を管理しながら増やしていくために積極的な活動を行っている事を、一般の方々に広く知っていただけるよう、県下各地で稚魚の放流体験事業を実施した。
- ② 各種イベントに参加し、展示、広報活動を行った。
- ③ テレビ、ラジオ、新聞等の情報媒体を通じて周知・PRに努めた。

【ヒラメPR放流】

部会	開催日	放流場所		放流尾数	参集者
出雲 東部	7/15	松江市	古浦海岸	1,000尾	松江の魅力「海」再発見参加者 150人
	7/31	松江市	大芦漁港	1,000尾	マリン保育所 23人引率 3人 野波保育所 21人引率 3人
	9/14	松江市	恵曇漁港	500尾	島根小学校 5年生 28人引率 2人 恵曇小学校 5年生 14人引率 2人
	9/20	松江市	恵曇漁港	500尾	鹿島東小学校 5年生 15人引率 2人
出雲 西部	6月14日	出雲市	大社漁港	1,000尾	田儀小学校 3・4年生 14人引率 2人
石見 東部	6月7日	大田市	和江漁港	1,000尾	静間小学校 6年生 9人
	6月8日	大田市	仁摩海岸	1,000尾	仁摩小学校 5年生 37人引率 2人

石見 西部	6月11日	江津市	波子漁港	1,000尾	川波小学校5年生23人引率2人
	5月31日	浜田市	瀬戸ヶ島	2,000尾	美川小学校4・5年生29人引率3人 弥栄小学校3・4年生21人引率2人
	6月5日	浜田市三隅	田の浦海岸	3,000尾	三隅小5年生45人引率3人 井野小学校・井野小学校室谷分校5・6年生 9人引率4人
	6月12日	益田市	高津海岸	2,000尾	戸田小学校5年生11人引率1人

【マダイPR放流】

部会	開催日	放流場所		放流尾数	参集者
隠岐島後	9月8日	隠岐の島町	西郷港	1,000尾	原田保育所12人 漁業集落祭り参加者50人
隠岐島前	9月6日	西ノ島町	由良湾	3,000尾	西ノ島小学校1・2年生26人
	9月7日	海士町	福井小学校前	3,000尾	海士小学校1・2・5年生22人 福井小学校1・2年生16人
	9月7日	知夫村	来居港	3,000尾	知夫小学校1~4年生22人
出雲東部	9月10日	松江市	七類港	1,000尾	美保関東保育所21人引率3人 美保関西保育所18人引率3人
	9月11日	松江市	御津漁港	1,000尾	御津保育所22人引率3人
	9月12日	松江市	魚瀬漁港	1,000尾	大野小学校2・3年生18人引率2人
	9月14日	松江市	恵曇漁港	500尾	※ヒラメPR放流参照
	9月20日	松江市	恵曇漁港	500尾	※ヒラメPR放流参照

【イベント参加】

イベント	開催地	日程	内容
輝けイレブン しまね町村フェスティバル	松江市	10/6~7	ヒラメ・マダイ展示、パネル展示、海藻押し葉
松江こだわり特産市	松江市	10/14	ヒラメ・マダイ展示、パネル展示